

「ひとりで学べる住宅基礎の構造設計演習帳」正誤表（第3版1刷用）

本書に誤り等がありましたので、以下に訂正致します。

今後も追加される可能性がありますので最新の正誤表については、（一財）日本建築センターホームページ（<http://www.bcj.or.jp/>）からご確認下さい。

H27/8/4

該当箇所		誤	正
頁	行		
8	memo 欄：3行目	コンクリート： <u>21</u> kN	コンクリート： <u>23</u> kN
37	表	貫入量L <u>cm</u>	貫入量L <u>m</u>
82	6行目	d=下側鉄筋かぶり厚さ <u>60 mm+鉄筋の最外径 11 mm</u> ±鉄筋の中心 5.5 mm	d=下側鉄筋かぶり厚さ <u>60 mm±鉄筋の中心 5.5 mm</u>
127	4行目	1) 長期荷重時応力から断面算定	1) 長期荷重時応力からの <u>断面算定</u>
129	4行目	① 建物の通り毎の鉛直荷重 ( <u>kN</u> ) の算定	① 建物の通り毎の鉛直荷重 ( <u>kN/m</u> ) の算定
150	8行目	$\sigma_a = \frac{6 \times T}{B^2} (\text{kN/m}^2) \rightarrow \sigma_e + \frac{6T}{B^2} = \left(1 + \frac{6e}{B}\right) \sigma_e$	$\sigma_a = \sigma_e + \frac{6T}{B^2} = \left(1 + \frac{6e}{B}\right) \sigma_e (\text{kN/m}^2)$
156	12行目	応力中心間距離 $j=d \times 7/8 = \underline{41.3} \times 7/8 = \underline{36.13}$ (cm)	応力中心間距離 $j=d \times 7/8 = \underline{42.2} \times 7/8 = \underline{36.925}$ (cm)
161	解答例	番号 20 番号 21	3.0 2.0
			3.25 6.75